

科目名	博物館実習 I					単位	2.0
担当教員	吉川 美穂						
授業形態	実技・実習	開講期間	随時	配当年次	3	授業番号	9112

●授業のテーマ

学芸員に必要とされる基礎的な知識や技能の習得

●到達目標

博物館、美術館の学芸員として必要な知識や技術を習得するとともに、学芸員としてのマナーや心構えなどを体得することを目標とする。

●学習内容(授業概要)

博物館、美術館の学芸員として必要な知識や技術—博物館資料の特性に応じた取り扱い、博物館資料を取り巻く環境に関する理念と環境計測機器・展示備品の取り扱い、写真資料や資料カードなどの資料整理、広報および教育普及事業など—を学び、作品の取り扱いの実習や博物館の見学を通して、学芸員に必要なマナーや心構えを体得する。

●学習内容(授業計画)

- 1、学芸員業務の概要と博物館実習
- 2、博物館資料の収納と保存
- 3、博物館見学 博物館の概要 —学外—
- 4、展示活動の実際1 展示室と展示備品
- 5、展示活動の実際2 展覧会ができるまで
- 6、博物館見学 博物館の展示方法 —学外—
- 7、資料の取り扱い1 掛物・巻物
- 8、資料の取り扱い2 屏風・額・冊子
- 9、資料の取り扱い3 陶磁器・漆工品
- 10、二次資料の取り扱いと整理 資料カード
- 11、資料の取り扱い4 金工・刀剣
- 12、資料の取り扱い5 染織・彫刻
- 13、資料の取り扱い6 まとめ —学外—
- 14、教育普及事業 概要と実習
- 15、まとめ

●準備学習・事後学習の内容

展覧会は一期一会、さまざまな文化財に出会えるチャンスである。展示方法も日進月歩で、展覧会自体が生きた教科書となる。博物館・美術館の展覧会へ数多く出かけ、さまざまな視点から見学し、レポートにまとめること。

●成績評価方法・基準

出席重視の上、講義および実習における授業態度、提出されたレポートで総合的に評価する。出席・授業態度50パーセント レポート50パーセント

●テキスト（必携）

講義時に指示

●参考文献／その他

講義時に指示

●履修上の注意

講義は不定期で、変則的な日程なので、日程に注意すること。2回ほど学外授業も行う予定である。事前に講義時に指示をするが、掲示板などもよく注意すること。